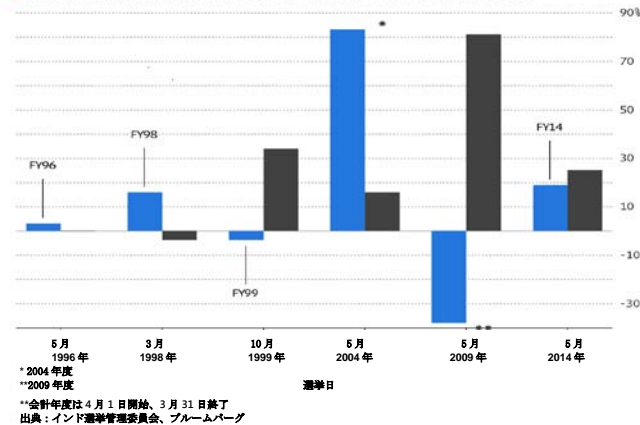


ハイライト

ラリー選挙

インドのセンセは6回の総選挙を席巻して何年も前に上昇しました。

■ 前の会計年度 (1988年度を除く) ■ 選挙の年度 (1998年度を除く)



インドの S&P BSE センセックスは、RBI の利上げ発表後に翌日 35,451.44 に 0.8% を上昇し、そのラリーを拡張し続けました。過去 6 回の選挙では、パワーが手を変えたかどうかに関わらず、投票にまたがる 2 年間でインド株の肯定的な利益を示しました。

(出典: BloombergQuint)

インドの鉄鋼消費は、政府がインフラ整備を促進し中期的な需要の伸びを引き上げるために消費者の需要を強化したので、2010 年度には 7.5% も増加すると予測されています。恒例の四半期決算報告によると、インドの最も大手の鉄鋼製造業者は鉄鋼の価格が強く値上がりしている中に生産を拡大しているようです。鉄鋼の生産高を向上する努力で、JW スチール会社および Tata 鉄鋼会社は今後 5 年間で資産売却を目指しながら自らの設備を拡張することを計画しています。(出典: Bloomberg)

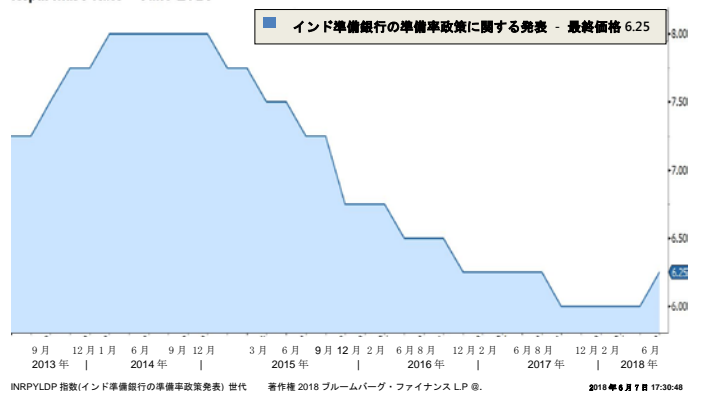
インドの GDP は 2017 年第 4 四半期から 2018 年まで 7.7% に達成して、前年同月比 6.1% の増加となりました。これは脱税の影響と商品サービス税導入が消えていく結果で 7 四半期では一番早いペースになりました。支出の崩壊により、建設業、製造業と公共サービスの成績が引き続き好調に維持して消費が安定していることが示されました。投資は、主に政府の支出が 2017 年の第 4 四半期の 6.8% から 16.8% に増加したため、急激に回復を続けていました。2018 年 1 月から 3 月までの際 1 四半期の個人の消費は、2017 年の第 3 四半期と比べて価格が一定で 6.68% 増加しました。

(出典: Bloomberg, The Economic Times)

Modi 氏は 2019 年再選挙の入札のため、老人年金・生命保険および出産給付の形で援助を提供する 3 つの初期パイロットプログラムを通じて、ほとんどの勤務中の市民に福祉プログラムを拡大するために態勢を整えています。政府は、来年 5 月に開催する予定がある連邦議会選挙までの 6 ヶ月間にこのプロジェクトを 6 つの区に予備実施する計画があります。この計画は 13 億人口のある国において最大の有益福利厚生プログラムの 1 つになるでしょう。これは非公式雇用を含むすべての労働者への給付を拡張します。国の GDP の約半分にほとんど貢献している非公式労働者に対して福利厚生の利益を与えることで、この計画は生活の質と生産性の向上を目指しています。

(出典: Bloomberg, アジア開発銀行)

インド準備銀行
再購入率 - 2018年6月



インドの中央銀行、経済成長が 4 年ぶりの低水準から回復する中に政策立場を中立に維持しながら、2014 年以来初期の再購入率を 6% から 6.25% に引き上げました。インフレの圧力が発生するにつれて、RBI は徐々に金利を引き上げると予想されています。その中立の立場は急速な金利上昇のサイクルに乗り出すことはないと思われ続ける中に、インド株式が上昇するのを助けました。金利の引き上げは、昨年 8 月の削減と逆転し経済活動を阻害するものになると期待されていません。インドの設備稼働率は増加していて、インドの工場活動も過去 10 カ月間に拡大しています。

RBI は、2019 年 3 月までの会計年度の GDP 成長率の予測が 7.4% で維持します。インフレ率の予測は、上半期の 4.7% から 5.1% への増加と上半期の 4.4% から 4.7% への増加の推定で、4.8% から 4.9% までのより高い範囲に修正されました。(出典: RBI, Bloomberg)

重要な情報

この報告書は、株式単元のオファーを構成するものではなく、勧告または意見書または広告でもありません。これは何らかの証券の利率や価格の起こり得る将来の動きに関する何らかの予測や表示の性質を持つものではありません。上記の報告書の内容は、特定の目的、経済状態、そしてこの報告書を受け取る特定の人の特定のニーズを顧みず、情報提供のみを目的としています。何らかの証券や有価証券への投資と本文書に言及されている投資戦略の妥当性に関しては、助言を求めるときであります。当社がお客様の投資問題を解決するうえでお役に立てる方法について詳しくお知りになりたい場合には UTI 資担当者にお問い合わせ頂くか、www.utifunds.com をご覧ください。